

2011年3月期
第2四半期
決算説明

成長と変革、そして未来へ

2010年10月29日

第2四半期 連結決算のポイント

1. 新造船の受注再開

2. 利益は過去最高

第2四半期 連結決算のポイント

1. 新造船の受注再開

新造船市況が回復

新規受注 7隻

手持ち工事 約3年

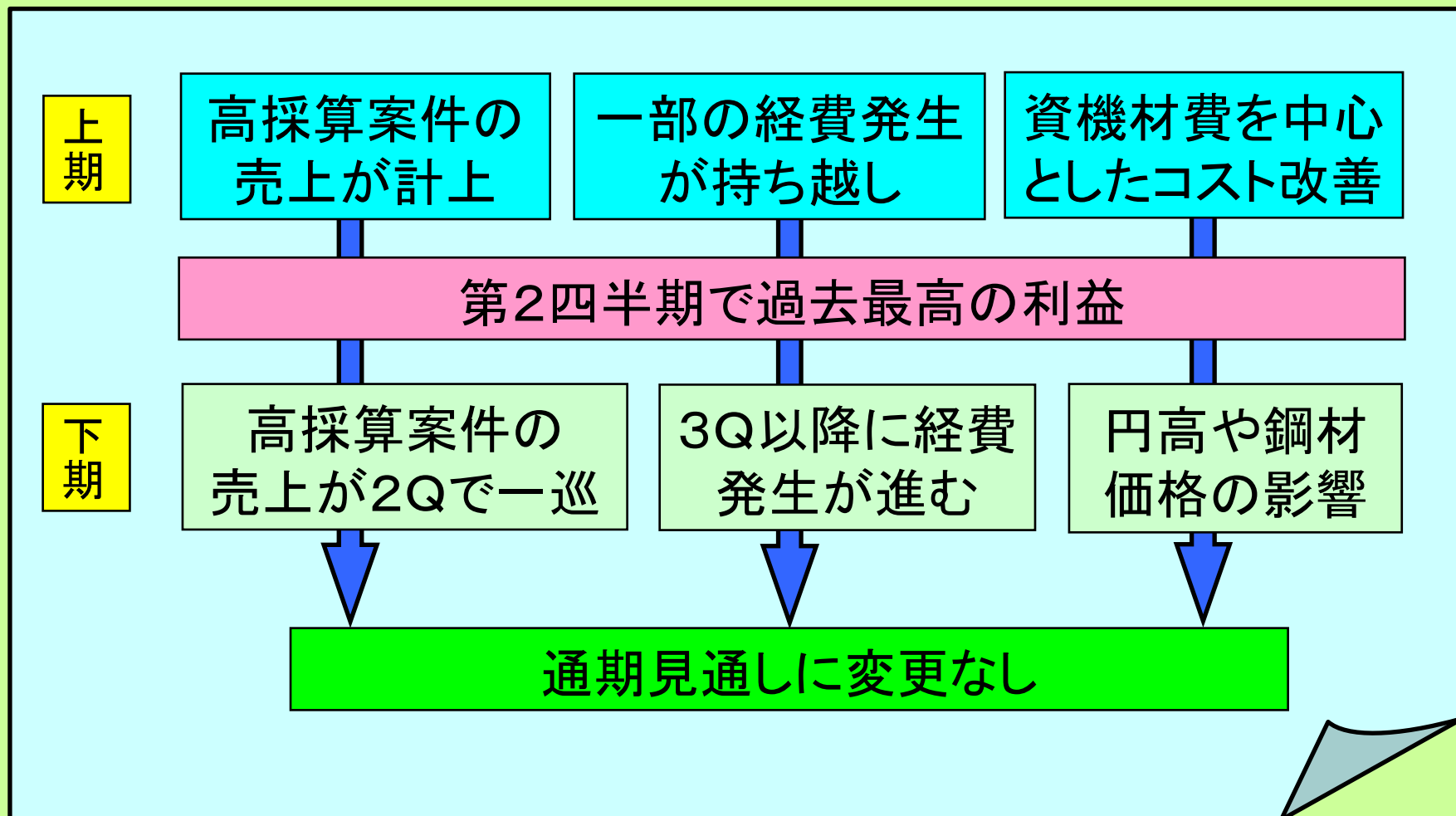
新型船開発

66BC市場投入

全面回復までは今しばらくかかると予想するが
10年度受注高(船舶部門): 3,300億円を見込む

第2四半期 連結決算のポイント

2. 利益は過去最高



第2四半期 連結決算の概要

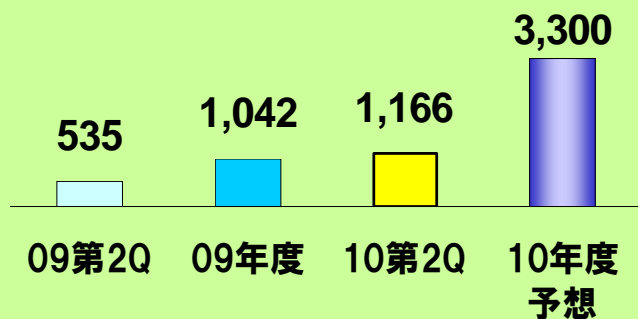
(単位：億円)

	09第2Q 実績	10第2Q 期初予想	10第2Q 実績	09年度 実績	10年度 予想
受注高	1,734		2,037	3,591	6,500
売上高	3,713	3,000	3,098	7,660	6,000
営業利益	189	170	245	430	310
経常利益	192	170	239	420	280
第2Q(当期) 純利益	96	75	115	197	120

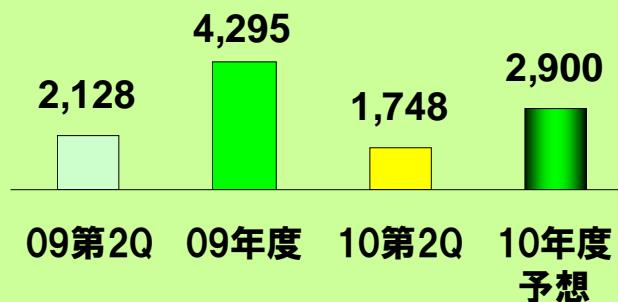
第2四半期 連結決算の概要—船舶部門

(単位：億円)

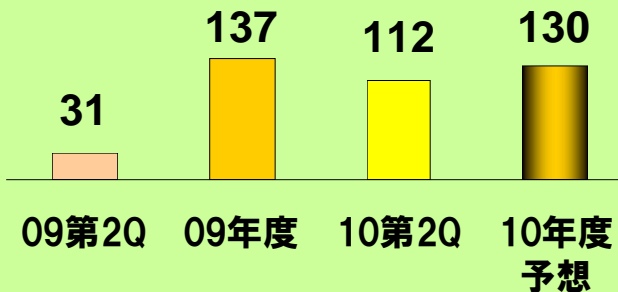
受注高



売上高



営業利益



(前期の数値は新セグメントに組替え後)

新造船の商談再開、新規受注へ

○受注高

- ・セミオープンBC 2隻、56BC 5隻など着実に新規受注を重ねる
- ・手持工事量は引続き約3年分を確保
- ・三井海洋開発はFPSO関連工事の受注で貢献
- ・CO2削減船・新船型66BCの市場投入により受注機会の拡大を狙う

単体実績 (隻数)	09年度 第2Q		09年度 実績		10年度 第2Q	
	受注	引渡	受注	引渡	受注	引渡
56BC	0	9	0	18	5	10

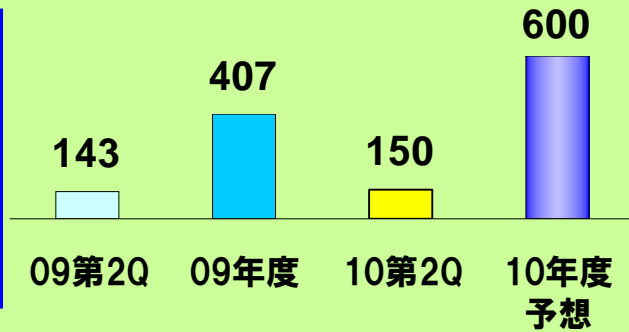
○売上高／営業利益

- ・設備投資や製造原価低減施策の取組みにより、営業利益は前年同期比で大幅増を達成

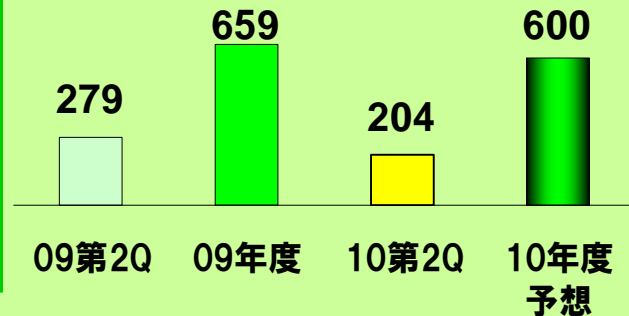
第2四半期 連結決算の概要—鉄構建設部門

(単位：億円)

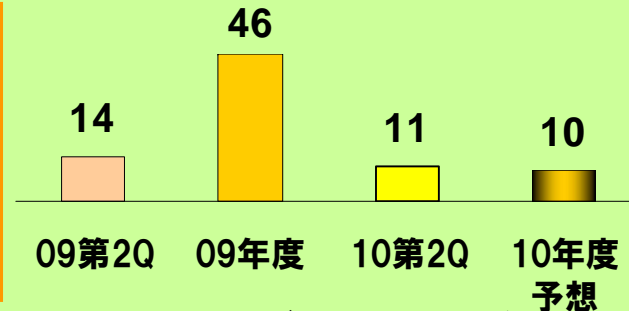
受注高



売上高



営業利益



(前期の数値は新セグメントに組替え後)

受注環境に回復の兆し

○受注高

- ・ クレーンマーケットは回復の兆し
- ・ 新型ハイブリッドトランスターナを初受注
- ・ 東南アジアの社会インフラ整備事業に注力
- ・ 国内公共事業はさらに競争激化

実績 (基数)	09年度 第2Q		09年度 実績		10年度 第2Q	
	受注	引渡	受注	引渡	受注	引渡
ターナ	0	4	6	14	1	4
トランスターナ	0	20	6	32	6	0

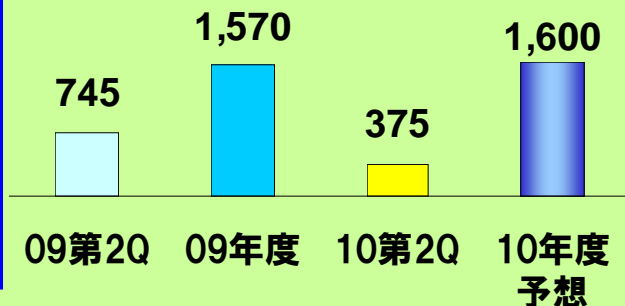
○売上高／営業利益

- ・ 昨年度から受注減少の影響で減収減益
- ・ 営業利益率は前年同期水準を確保

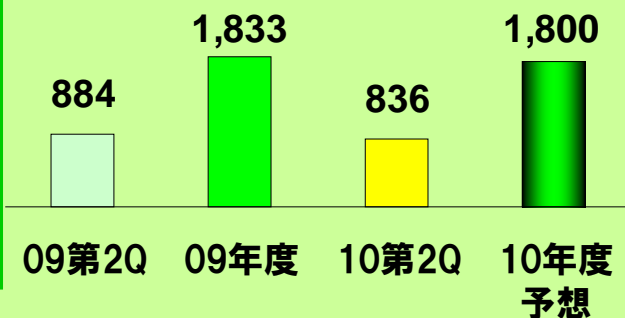
第2四半期 連結決算の概要—機械部門

(単位：億円)

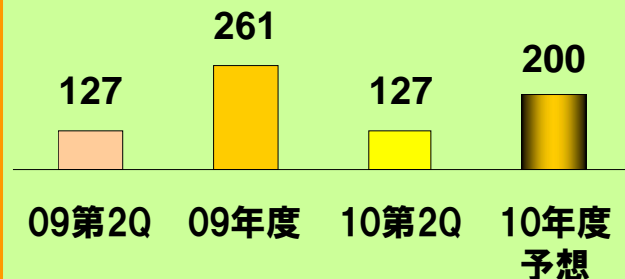
受注高



売上高



営業利益



(前期の数値は新セグメントに組替え後)

円高により受注面の競争が激化 売上損益は堅調に推移

○受注高

- ・ 船用ディーゼル事業は豊富な受注残高により、仕事量確保に問題無し
- ・ 産業機械事業は中東・インド等の引合い案件が増加
- ・ アフターサービス事業は比較的好調

○売上高

- ・ 船用ディーゼル事業および子会社が貢献し、通期も昨年度並みを見込む
(船用ディーゼル機関)

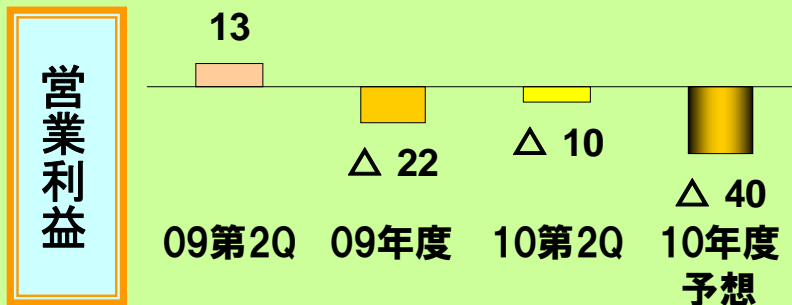
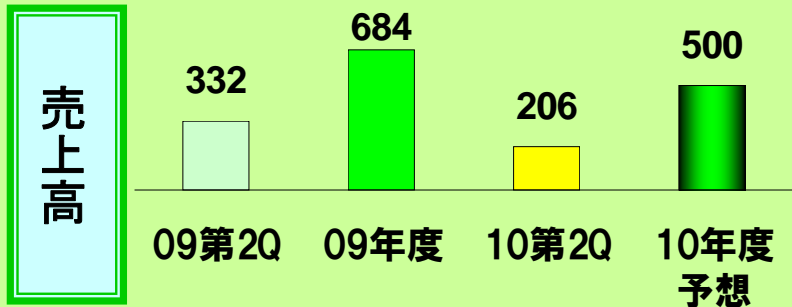
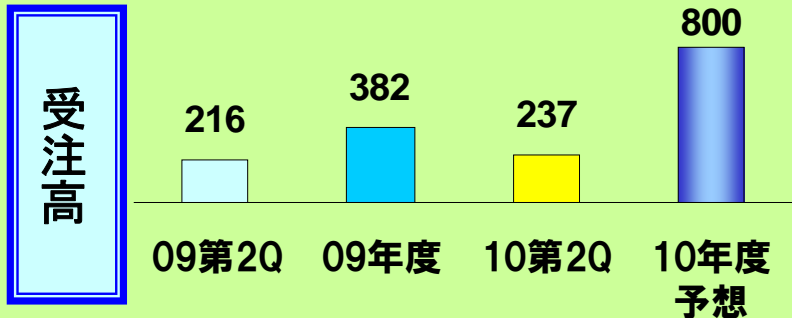
実績	09年度 第2Q			09年度 実績			10年度 第2Q		
	受注	売上	受注残	受注	売上	受注残	受注	売上	受注残
基数	61	94	230	190	196	223	21	101	143

○営業利益

- ・ ユーロ安の恩恵を受け、子会社のBWSCが堅調。利益率は高水準を維持

第2四半期 連結決算の概要—プラント部門

(単位：億円)



(前期の数値は新セグメントに組替え後)

投資計画延期により 受注が下半期へ

○受注高

- ・前年同期に対し国内化学プラント小規模工事の受注が増加。
下期は海外大型案件の受注を目指す

○売上高／営業利益

- ・受注遅れにより前年同期に対し売上高は減少。新規受注により通期売上高の上積を目指す
- ・通期営業利益は受注遅れから工事量不足により減少

売上高内訳 (億円)	09年度第2Q	09年度実績	10年度第2Q
化学プラント分野	280	496	148
環境分野	52	188	58

第2四半期 連結決算の概要—新規事業

環境対応型製品の事業化を促進

バイオエタノール製造プラント



当社は食料と競合しない原料からのバイオエタノールを中核としている。
また、食品残渣、農業廃棄物等も有望原料であり、今後事業化を指向して行く。

NGH事業



NGH生成能力確認試験により5トン／日を超える実績を確認。2010年度も、引き続きプロセス確認運転及び連続運転を実施し、商業化に必要な運転データを蓄積して行く。

第2四半期 連結決算の概要—新規事業

環境対応型製品の事業化を促進

リチウムイオン二次電池用 リン酸鉄リチウム正極材製造



2011年度に年間5百～1千トン規模の商用プラントの建設に着工し、2012年度には本格的な販売を開始する計画。

バラスト水処理装置



対象となる船舶は新造船と既存船の両方であり、小型船舶用は2010年に型式承認を取得して市場に投入予定。
大型船舶用は2011年度に型式承認を取得して行く予定。

第2四半期 連結決算の概要—新規事業

環境対応型製品の事業化を促進

太陽熱発電



2009年10月に納入した反射式集光型太陽熱発電の実験プラントについて、性能評価試験を実施し、当初計画通りの集光性能を確認。

風力発電設備



風力発電施設の建設を数多く手がけた強みを生かし、今後も拡大が見込まれる風力発電市場に対し、既に商業化している陸上風力発電に加えて、洋上風力発電にも取り組んで行く。

第2四半期 連結損益計算書(要約)

(単位：億円)

	09第2Q		10第2Q		増減
	金額	比率	金額	比率	
売上高	3,713	(100.0%)	3,098	(100.0%)	△ 615
売上原価	3,320		2,651		
売上総利益	393		447		
販売費及び一般管理費	204		202		
営業利益	189	(5.1%)	245	(7.9%)	56
営業外収益	36		29		
営業外費用	32		35		
経常利益	192	(5.2%)	239	(7.7%)	47
特別利益	5		0		
特別損失	28		41		
税引前利益	169	(4.5%)	198	(6.4%)	29
法人税、住民税及び事業税	56		77		
法人税等調整額	10		△ 4		
少数株主利益	7		10		
四半期純利益	96	(2.6%)	115	(3.7%)	19

第2四半期 連結貸借対照表(要約)

(単位：億円)

	09年度末	10第2Q末	増減		09年度末	10第2Q末	増減
流動資産	(4,203)	(3,641)	(△561)	支払手形・買掛金	1,665	1,666	1
現預金	713	640	△ 74	前受金	795	688	△ 107
受取手形・売掛金	2,158	1,755	△ 403	有利子負債	1,978	1,510	△ 468
仕掛品	388	397	10	その他	1,189	1,107	△ 82
その他	944	850	△ 95	負債合計	(5,627)	(4,972)	(△655)
固定資産	(3,226)	(3,211)	(△15)	資本金・資本剰余金	626	626	0
有形固定資産	2,101	2,099	△ 1	利益剰余金	764	838	74
無形固定資産	115	115	△ 1	自己株式	△ 6	△ 7	0
投資その他	1,010	997	△ 13	評価・換算差額等	222	146	△ 75
				少数株主持分	197	277	81
				純資産合計	(1,802)	(1,881)	(79)
合計	7,429	6,852	△ 576	合計	7,429	6,852	△ 576

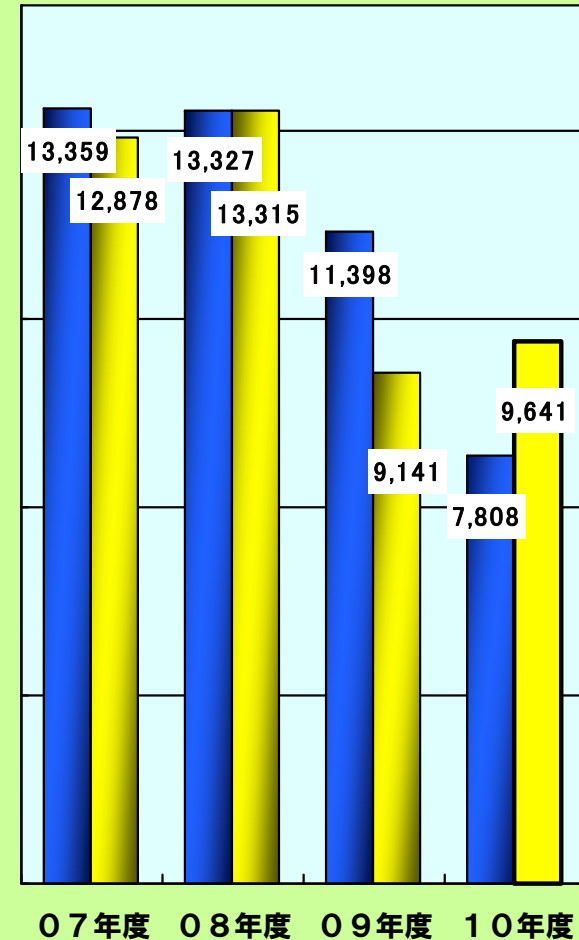
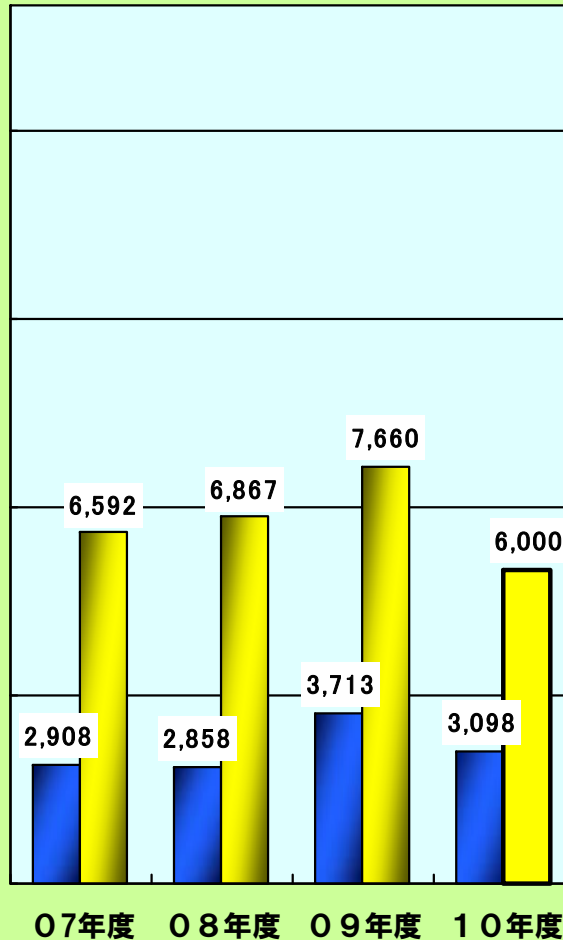
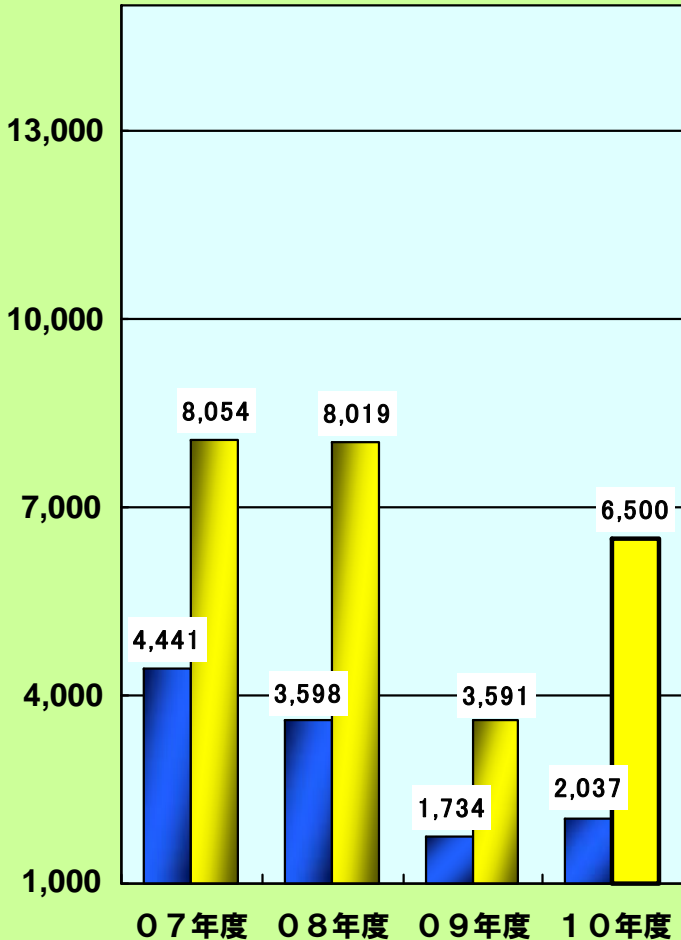
連結 受注高・売上高・受注残高推移

受注高

売上高

受注残高

(億円)



注: 10年度通期は予想数値

■ 第2Q ■ 通期

連結 受注高・売上高・営業利益の内訳

(単位：億円)

セグメント	09第2Q			10第2Q			10年度予想		
	受注高	売上高	営業利益	受注高	売上高	営業利益	受注高	売上高	営業利益
船舶	535	2,128	31	1,166	1,748	112	3,300	2,900	130
鉄構建設	143	279	14	150	204	11	600	600	10
機械	745	884	127	375	836	127	1,600	1,800	200
プラント	216	332	13	237	206	△10	800	500	△40
その他	95	90	4	108	104	4	200	200	10
合計	1,734	3,713	189	2,037	3,098	245	6,500	6,000	310

(前期の数値は新セグメントに組替え後)

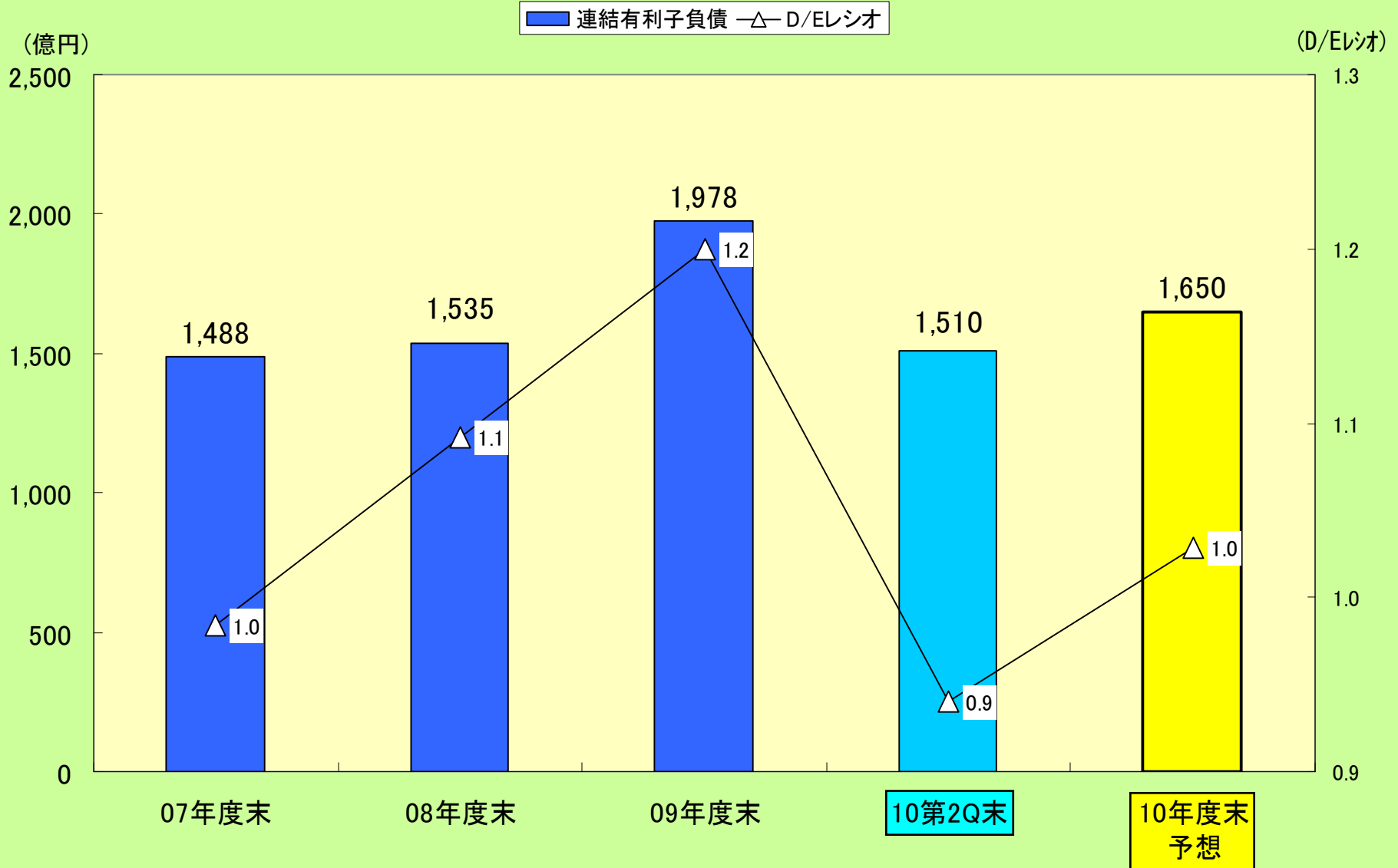
連結キャッシュフローの状況

(単位：億円)

摘 要	09第2Q 実績	10第2Q 実績	09年度 実績	10年度 期初予想	10年度 最新予想
営業活動による キャッシュフロー	△25	205	△186	370	110
投資活動による キャッシュフロー	△242	△199	21	△310	△400
財務活動による キャッシュフロー	276	△252	238	△350	△100
有利子負債	1,899	1,510	1,978	1,510	1,650

*有利子負債：リース債務を除く

連結有利子負債残高とD/Eレシオの推移



*有利子負債：リース債務を除く